

岡山県スポーツ推進委員協議会

会報

第 59 号

令和8年4月1日

〒700-8570

岡山市北区内山下2-4-6
 岡山県環境文化部スポーツ振興課内
 岡山県スポーツ推進委員協議会
 印刷 株式会社iプランニングKOHWA

会長あいさつ



会長

赤木 弘蔵

スポーツ推進委員の皆様には、平素から県内各地において地域のスポーツ振興に御尽力を賜りますとともに、御活躍をいただいておりますことに心から敬意を表します。

昨年度、西日本で初めてとなる冬季国民スポーツ大会、スケート・アイスホッケー競技が、岡山市及び倉敷市で開催され、新たなスポーツの魅力等を発信することができました。

当協議会においても、皆様の御協力により、令和7年度事業を無事に終了し、岡山県スポーツ推進委員協議会会報59号を発刊する運びとなりました。

今年度は、令和7年6月

28日・29日の2日間、5年ぶりに倉敷市において中国地区スポーツ推進委員研修会を開催し、中国地区から延べ830名余りのスポーツ推進委員の方々の御参加により、盛大な研修会となりました。御講演いただいたランニングアドバイザー等々で御活躍の三津家貴也様には、「スポーツ科学の重要性」をテーマに、様々な経験や走ることの楽しさなどをお話しいただき、実践発表者の方々には、今後の活動に大いに参考となる取組を御紹介いただきました。また、備南支部スポーツ推進委員協議会の皆様の献身的な運営や活気に満ちた対応により、今後のスポーツ

推進委員のさらなる可能性を感じる事ができました。御尽力いただいた関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。

さて、スポーツには人の心を豊かにし、人と人をつなげ、心身ともに元気にする力が備わっています。スポーツに係わる皆様方の力を集結し、『する・みる・ささえる』といったスポーツの楽しみ方や喜びを分かち合い、それらをすべての人に伝えていくことが、将来的なスポーツの発展に大きく結びついていくものと考えています。さらに、スポーツ推進委員は、「地域スポーツの推進リーダー」という重要な役割を担っております。引き続き、皆様には、スポーツ推進委員の役割に鑑み、地方公共

団体と地域のスポーツ団体等との連絡・調整するコーディネーターとして、「地域スポーツの振興」のより大きな推進力になるよう、御活躍いただきたいと思います。結びになりましたが、皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げます。



文部科学大臣表彰を受賞して



総社市スポーツ推進委員協議会 会長

風 早 秀 義

このたび、文部科学大臣表

彰という身に余る栄誉を賜り、

誠に光栄に存じます。これま

あつてこそ、今日まで続けて

での活動を評価していただい

くることができました。この

たことに、驚きとともに深い

場をお借りして、心より御礼

感謝の気持ちでいっぱいです。

申し上げます。

振り返りますと、スポーツ

当初は体操の指導を主な活

推進委員としての活動は、決

動として、子どもから高齢者

して一人で成し得たものでは

まで幅広い世代の方々と関

ありません。地域の皆さま、

わかってまいりました。体を動

共に活動してきた推進委員の

かす楽しさや、無理なく継続

仲間、そして日頃からご理解

することの大切さを伝える中

とご協力をいただいている行

で、地域スポーツが人と人と

政関係者の皆さまの支えが

をつなぐ力を持っていること

は、体操に限らず、スポーツ

を実感してきました。現在で

は、体操に限らず、スポーツ

担っていると感じています。

全般の推進や地域行事への協

今回の受賞を一つの節目と

力など、より幅広い活動に携

し、今後も初心を忘れること

わっております。また、岡山

なく、誰もが気軽にスポーツ

県や総社市、関係団体の皆さ

に親しめる地域づくりに微力

まど連携しながら活動できた

ながら貢献してまいりたいと

ことは、視野を広げる大きな

考えております。

学びとなりました。県・市の

取組や研修を通じて得た知見

を、地域の現場に生かすこと

ができたのも、貴重な経験で

あつたと感じております。

こうした日々の取組の中で、

参加された方々の笑顔や温か

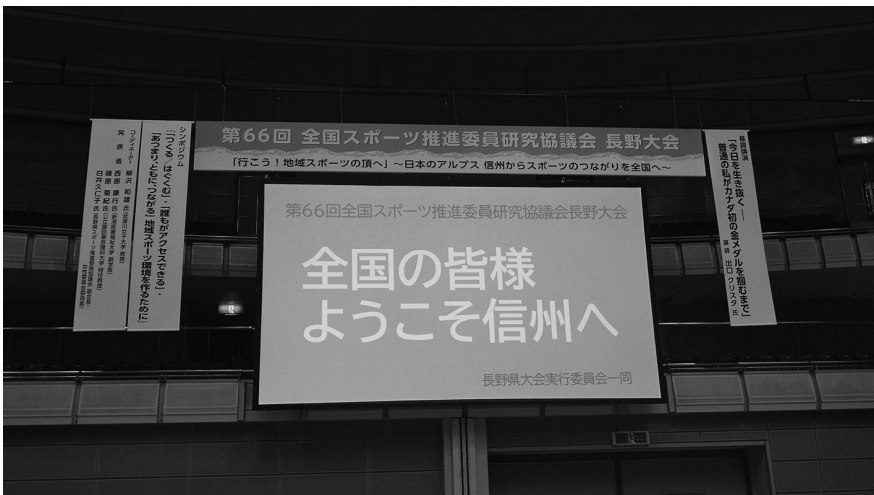
い言葉に励まされながら、活

動を続けてまいりました。地

域スポーツは、健康づくりだ

けでなく、地域に活力とつな

がりを生み出す大切な役割を



令和7年度 功労者表彰受賞者

文部科学大臣表彰

風早 秀義 総社市

竹井 克之 真庭市
定森 正之 勝央町
鷹取勢津子 奈義町

(公社)全国スポーツ推進委員連合表彰

〈全国功労者表彰〉

〈全国功労者表彰〉

岡村登志男 倉敷市

平田久実子 高梁市

光元 一郎 久米南町

〈三十年勤続表彰〉

青木 幸一 岡山市

熊代 行広 岡山市

河内留美子 吉備中央町

石田 誠司 吉備中央町

安立 伸 新見市

政本 昌美 津山市

竹内 弘子 津山市

谷口 陽子 津山市

竹内 幸江 津山市

政保 正孝 真庭市

中国地区スポーツ推進委員協議会表彰

〈功労者表彰〉

中原 崇 岡山市

戸羽万里子 倉敷市

山本加代子 倉敷市

内田登志香 倉敷市

澤 千尋 倉敷市

渡邊 秀康 倉敷市

村井 正和 倉敷市

井木 誠三 倉敷市

中谷 育子 倉敷市

天野 直樹 笠岡市

天野 文男 笠岡市

西江 律子 笠岡市

川田貴美男 矢掛町

岡山県スポーツ推進委員協議会表彰

〈表彰状〉

〈表彰状〉

(合算して15年以上)

大内マリ子 岡山市

常藤 真弓 岡山市

笠井 清範 岡山市

浅野 宏一 岡山市

安井 英久 岡山市

大谷 文男 岡山市

井上 和正 岡山市

奥山 朋典 岡山市

森 輝幸 岡山市

山下 一男 勝央町

忠政 幸雄 勝央町

小谷 佳枝 真庭市

松岡 祥和 真庭市

矢木 久子 真庭市

岡嶋 京子 津山市

三浦 政利 新見市

林 和美 新見市

峠 秀子 新見市

唐崎 健児 高梁市

武田 敏郎 高梁市

金元 崇浩 高梁市

田中 由利 岡山市

川上 雅美 高梁市

田中 弘 津山市

植島 倫子 玉野市

山下 浩二 玉野市

森峰知佳子 玉野市

藤井 由美 玉野市

山口 理粧 玉野市

木村壮一郎 倉敷市

藤原 弘康 倉敷市

神崎 仁 倉敷市

安藤 敏夫 倉敷市

丸山 秀児 倉敷市

杉岡 慶子 倉敷市

中村 信一 井原市

西村慎次郎 井原市

妹尾 曜子 井原市

〈感謝状〉

(合算して10年以上)

大石 敏正 岡山市

本近 憲一 岡山市

小林 延行 岡山市

植島 倫子 玉野市

山下 浩二 玉野市

森峰知佳子 玉野市

藤井 由美 玉野市

山口 理粧 玉野市

木村壮一郎 倉敷市

藤原 弘康 倉敷市

神崎 仁 倉敷市

安藤 敏夫 倉敷市

丸山 秀児 倉敷市

杉岡 慶子 倉敷市

中村 信一 井原市

西村慎次郎 井原市

妹尾 曜子 井原市

〈感謝状〉

井上 美江 高梁市

西山 圭 津山市

坂根 美和 真庭市

丸山 元治 真庭市

下山 尚子 美作市

河原 伸一 鏡野町

竹内 恵子 勝央町

有岡 滉太 勝央町

大杉 規代 総社市

石井 和宏 総社市

河上 賢二 矢掛町

齋藤 有二 矢掛町

難波 洋 高梁市

平井 幸亮 高梁市

林 輝 高梁市

小林 義和 岡山市

大崎 陽二 赤磐市

榊田 利晃 井原市

優良団体表彰
該当なし

全国スポーツ推進委員連合 功労者表彰を受賞して

功労者表彰を受賞して

倉敷市スポーツ推進委員協議会

岡村 登志男

この度、第66回全国スポーツ推進委員研究協議会 長野大会において、功労者表彰を受賞させていただきました。ありがとうございます。

これもひとえに諸先輩のご指導・ご鞭撻のおかげと深く感謝申し上げます。

私は、平成9年、当時学区のママさんバレーボールの監督をしていた関係で小学校校長やPTA会長の薦めで体育指導委員（スポーツ推進委員）の任命を受けました。

その頃ニュースポーツのソフトバレーボールの普及のため水島地区で大会の企画を始めました。

日本バレーボール協会公認のソフトバレーボールリーダーの認定を取得してソフトバレーボールの普及に力を入れました。

その大会も本年度で28回を数えます。

倉敷地区では研修部で勉強させていただき、たくさんのニュースポーツを知ることが出来ました。

平成30年に岡山県バラスポーツ指導員（初級）を修了、特に岡山県ポッチャ協会公認審判員になりポッチャの普及を通してユニバーサルスポーツの普及を微力ながら行っています。

終わりに、岡山県スポーツ推進委員協議会の皆さまの更なるご活躍とご健勝を心より御祈り申し上げます。

功労者表彰を受賞して

高梁市スポーツ推進委員

平田 久実子

この度は、栄えある「全国スポーツ推進連合功労者表彰」を賜り、誠に光栄に存じます。身に余る光栄であり、心より感謝申し上げます。私が長年にわたるスポーツ推進委員として活動を続けてこられましたのは、ひとえに周囲の皆様の温かいご支援があったからこそと、深く感謝しております。

活動を始めた当初は右も左もわからず戸惑うばかりでしたが、親身になって相談に乗ってくださった諸先輩の皆様には、心構えから具体的な方法まで、多くのことを学ばせていただきました。ありがとうございます。

様々な活動の中でも、「愛らぶ高梁ふれあいマラソン大会」や「ヒルクライムチャレンジシリーズ吹屋ふるさと村大会」また「ニュースポーツ体験会」などを通じて、世代を超えた交流が生まれる瞬間に何度も立ち合っているのが嬉しかったです。特に、スポーツが持つ「人と人を繋ぐ力」を肌で感じました。特にふれあいマラソン大会で、高齢者や手をつないでゴールする

親子が一生懸命に走り抜けた光景などは、今も鮮明に記憶に残っています。その際に参加者の皆様からいただく「苦しかったけど楽しかった」「次回も参加したい」という笑顔が、何よりの原動力となりました。

近年は、健康寿命の延伸や共

功労者表彰を受賞して

久米南町スポーツ推進委員

光元 一郎

生社会の実現など、私たちスポーツ推進委員に求められる役割も変化しています。また、環境の変化にも対応し新しい分野の知識を深めるための研修会にも積極的に参加しスキルアップに努めてまいります。

受賞の喜びを胸に、これからも「地域に根差したスポーツの伝道師」として、楽しみながら活動を続けていきたいと考えています。

このたびは長野大会で表記の賞をいただき、ご尽力をいただいた県協議会関係者各位に御礼を申し上げます。また美作地区、久米郡の皆様そして久米南町の仲間にも感謝しきれない思いです。私が体育指導員を拝命したのは1976年、19歳でした。職場近くの小学校でソフトボールを指導したのがきっかけで、声をかけていただきました。体育協会の幹部の皆さんと協力してスポーツ少年団の大会や、町民運動会の準備や運営をしたこ

とが思い出さなくなっています。当時の体協の皆さんや指導員の先輩の皆さんは、年齢や経験は関係なく偉ぶることなしに同じように接してくれ、このことが私がスポーツ関係にのめりこむきっかけになったと思います。岡山国体前後には体協会長に就任したことから町の慣例であったため指導員は抜けていましたが、10年以上を経過し再度スポーツ推進委員として復帰しました。現在は幼児から小学校低学年を対象とした、カッピース

ポーツクラブの運営や、各種ス
ポーツ行事のサポート業務が主
な活動となっています。地域行
事や各種団体への新スポーツ等
の提案をしていますが、なかな
か前に進まないのが現状ですが、
子供たちや高齢者の皆さんにス

ポーツの楽しさを紹介し、体力
の向上や維持に貢献したいと考
えております。最後にこの受賞
におごることなくスポーツの推
進に尽力することをお約束して
感謝の言葉といたします。

藍綬褒章を受章して

岡山県スポーツ推進委員協議会

会長 赤木 弘 蔵

この度、昨年秋の褒章におい
て、藍綬褒章を賜りました。こ
れもひとえに、地域の皆さま、
そして日頃よりスポーツ推進活
動にご尽力されている委員各位
の支えの賜物であり、心より感
謝申し上げます。

スポーツ推進委員としての活
動は、地域に根ざし、住民の皆
さまの健康づくりと交流の輪を
広げる大切な役割を担っていま
す。少子高齢化や生活様式の変
化が進む中で、スポーツの果た
す意義はますます大きくなって
います。体力の向上のみならず、

世代を超えたつながりや地域の
活力を育む力がスポーツにはあ
ります。

今回の受章は、私個人に対す
るものというよりも、これまで
共に歩んできた仲間や地域の皆
さま全体に対する励ましである
と受け止めております。これを
新たな出発点として、初心を忘
れず、誰もが気軽にスポーツに
親しめる環境づくりに、引き続
き力を尽くしてまいります。

今後とも変わらぬご指導、ご
支援を賜りますようお願い申し
上げます。

令和7年度中国地区スポーツ推進委員研修会

倉敷市で開催

6月28日(土)、29日(日)、「令

和7年度中国地区スポーツ推進
委員研修会」が、倉敷市で開催
され、岡山県スポーツ推進委員
協議会備南支部主管のもと、中
国地区5県からのべ840名が
参加しました。

開会行事に先立ち、初めに
環太平洋大学チアリーディング
部のみなさまに歓迎アトラク
ションとしてダンスパフォーマンス



労者表彰を70名の方が授与され、
受賞者を代表して笠岡市スポー
ツ推進委員の西江律子委員から
謝辞が述べられました。



参加型のパフォーマンスとなっ
ており、推進委員の皆様にも実
際にチアリーディングを体験し
ていただき、会場を盛り上げて
くださいました。

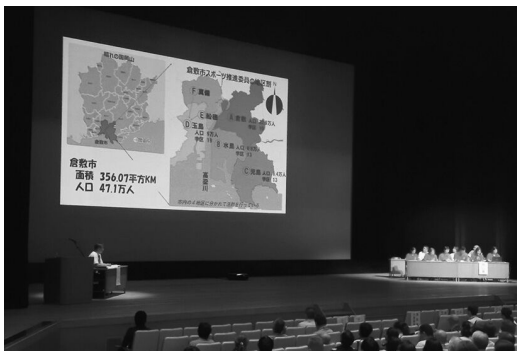
開会式では、岡山県環境文
化部長の國重良樹様、倉敷文化
産業局長の別府正樹様にご祝辞
を賜りました。引き続き執り行
われた表彰式では、中国地区功

基調講演では、「スポーツ科
学の重要性」と題し、ランニン
グコーチ、非常勤講師、インフ
ルエンサーやモデル、マラソン
大会のゲストランナーとして多
岐にわたり活躍されている三津
家貴也先生より、講演をいただ
きました。「科学×ランニング」
をテーマに、ランニングを通し
てみんなを笑顔・元気にするこ
とを目指して活動されており、
ショート動画やTikTok
といった、手軽に見ることので
きる動画媒体によるランニング
の普及活動や、大学・大学院で
研究されていた最新科学に基づ



いたトレーニングの重要性について講義いただきました。なかでもH R V（心拍変動）を用いた練習メニューの調整を行う方法は、アスリートのけがや、さらなるパフォーマンスの向上といった従来のスポーツ業界全体の課題を解決するうえで非常に役立つのではないかと感じました。

実践発表では、コーディネーターに環太平洋大学体育学部体育学科教授の早田剛氏をお招きし、倉敷市スポーツ推進委員協議会より「コロナ後の1年間の活動」、和木町スポーツ推進委



員協議会より「スポーツ推進委員の活動について」町民のスポーツ体験普及を目指して、鳥取市スポーツ推進委員協議会より「スポーツ推進委員の活動をさらに展開するためには協議会の活性化・機能強化をはかる」と題してそれぞれ発表いただきました。

情報交換会は、会場を移して倉敷アイビスクエアで約400名の委員の皆様に参加いただき、盛大に開催されました。会場では「ちんどんゆばら」による練り歩きや矢掛町の「本陣バンド」による演奏で会場を盛り



り上げていただきましたながら、各市町村のスポーツの状況について委員同士で意見を交換し合ったり、情報交換会後半のビンゴ大会でたくさんの方々が地元の特産品を獲得したりと、県の垣根をこえて親睦を深めることができました。

2日目の実技研修会は倉敷市スポーツ推進委員協議会研修部の皆様に指導いただき、会場を2つに分けて実施されました。水島緑地福田公園体育館では、「ポッチャ」「卓球バレー」「モルック」の3種目を、ライフパーク倉敷では「囲碁ボール」をそ

れぞれ実施しました。「ポッチャ」は、バラリンピットの正式種目にもなっているスポーツで、白いジャックボールに赤と青のボールをいかに近づけるかを競います。ゲームが進むにつれ、投げるのが上手になることで戦略性が増していき、レベルの高い試合が繰り広げられていました。

「卓球バレー」は卓球台のコートに2つのチームが向かい合い、転がすと音のなるボールをネットの下を転がして相手コートに返球します。座ったままプレーできるのが特徴です。慣れてくるにつれてスピードの



ある球や相手が返しづらい位置への返球など工夫がみられ、皆さんとても楽しそうにプレイされていました。

「モルック」は、フィンランド発祥の木製の棒を投げて1から12の数字が書かれたスキットルを倒し合計得点がちょうど50点になることを目指すスポーツです。狙う場所の工夫や、得点計算など戦略性が生まれ盛り上がっていました。

「囲碁ボール」は、囲碁とゲートボール、ゴルフの要素を組み合わせたスポーツで、黒と白のボールをスティックで打ち、マット上の碁盤の目に配置して





「ライン得点(五目並べ)」と「ポイント得点(目に入ったボール数)」を競います。狙う場所や得点について、チームごとに作戦を立てて、皆さん楽しんでいらっしゃる様子でした。

この度の研修会の開催につきまして、実行委員会のみならず、皆さまをはじめ、備南支部の各市町の事務局・委員の皆様にご協力いただき、無事開催することができました。この場を借りて改めて感謝を申し上げますとともに、皆様方の今後のますますのご活躍を心よりお祈りを申し上げます。

第66回全国スポーツ推進委員

研究協議会について



令和7年11月13日、14日に、長野県長野市ビッグハットをメイン会場として、「行こう！地域の頂へ〜日本のアルプス信州からスポーツのつながりを全国へ〜」を大会テーマとした第66回全国スポーツ推進委員研究協議会が、全国から約3,300

名の参加のもと、盛大に開催されました。

開会式では、スポーツ庁から大杉住子スポーツ庁スポーツ総括官、公益社団法人全国スポーツ推進委員連合から阿達雅志会長のご挨拶の後、文部科学大臣表彰をはじめとする各表彰を、全国のスポーツ推進委員及び団体が受賞され、本県からは17名が受賞いたしました。

また、パリオリンピック柔道女子57kg級金メダリストの出口クリスタ氏による「今日を生き抜く 普通の私カナダ初の金メダルを掴むまで」をテーマとした講演も行われました。

講演では、「家族の思い」「恩師の支え」「妹の覚悟」「カナダと日本、両方への誇り」それらすべてを胸に競技を続けてきた。そして、金メダルを取れたことは「特別な才能があったからで

はなく、一日一日の積み重ねが自分自身を強くしてくれた。」など、経験を生かした講演で、大変貴重なお話を聞く良い機会となりました。

シンポジウムにおいては、『つくる／はぐくむ』『誰もがアクセスできる』『あつまり、ともに、つながる』地域スポーツ環境を作るために』をテーマに武庫川女子大学の柳沢教授をコーディネーターに迎え3人のシンポジストとともに議論が深まり、地域のスポーツ推進をめぐり、多様な人々のスポーツの機会の創出と健康増進、スポーツによる地方創生やまちづくり、そしてスポーツを通じた共生社会の実現を目指した意見が交換され、スポーツ推進委員に求められる役割など再確認できました。また、各テーマに分かれた分科会においても、様々な取組

を行っていている発表者の内容に刺激を受け、今後の活動に向けた参考となりました。

スポーツ推進委員は、各地域のコーディネーターとしての役割が大いに期待されています。スポーツには地域社会とつながる力を持っており、『する』『みる』『ささえる』という様々な参画を通じて、より多くの人がスポーツの楽しさや感動を分かち合えるような『スポーツ文化』の成熟に向けて取り組むこともスポーツ推進委員の役割の一つであることを実感し、実り多き研修会を終えました。



生涯スポーツ・体力づくり全国会議2026 一人・スポーツ・未来——に参加して

高梁市スポーツ推進委員協議会

川上 伸介

令和8年2月10日、生涯スポーツ・体力づくり全国会議2026が栃木県総合文化センター（宇都宮市）において開催

され、高梁市スポーツ推進委員協議会を代表して参加いたしました。全国から多くの関係者が集い、生涯スポーツのこれから

について考える大変有意義な機会となりました。

全体テーマは「スポーツがもたらす新たな価値の発見」です。全体会では、スポーツが持つ楽しさや達成感といった本来の魅力に加え、地域活性化や共

生社会の実現、ウェルビーイングの向上など、社会に広がる価値について幅広い議論が行われました。「スポーツ嫌いをなくす」という視点や、活動を継続していくための仕組みづくりの大切さに触れ、改めて地域での役割の重みを感じました。

第2分科会では、矢板市の実証事業の紹介を通して、スポーツが文化・福祉・経済分野と結び付く可能性が示されました。スポーツの「個人的な楽し

さ」と「社会的な意義」の両立を図る視点は、地域の実情に合わせた取組を進める上で大きなヒントとなりました。第3分科会では、健康寿命延伸を目指す「貯筋運動」の事例が紹介され、身近で続けやすい運動環境づくりの重要性を実感しました。

今回の学びを大切にしながら、スポーツ推進委員として地域をつなぐ役割を意識し、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくりに努めてまいります。

令和7年度スポーツ推進委員 リーダー養成講習会に参加して

新見市スポーツ推進委員

大井 敏光

私は、先日参加した講習会を通じて多くの学びを得ました。その中でも特に印象深かったのは、スポーツの概念に対する新たな理解と、さまざまな活動の重要性です。スポーツというと、競争や勝敗を重視するイメージ

が強いかもしれませんが、実際には競争だけがスポーツのすべてではありません。階段昇降、トランプ、さらには散歩など、競争を伴わないスポーツも十分に楽しめ、身体的な健康や精神的なリフレッシュを促進するも

のだと感じました。これらの活動は、身体を動かす楽しさや、達成感を味わうことができる素晴らしい方法です。

また、学校の外部指導員としての役割についても再認識しました。外部指導員は、学校での指導活動を補完し、スポーツや遊びを通じて子どもたちに多様な体験を提供する重要な存在

です。これから自分が講師として活動する際にも、こうした多様なアプローチを取り入れていきたいと考えています。

今後、私は県や支部、地域で講師として活動する際、特に「楽しむこと」の大切さを伝えたいと考えています。スポーツは無理に競争しなくても十分に楽しめるものだということを、参加者に実感してもらうことが重要です。また、地域や団体との連携を強化し、学校の枠を超えて、卒業後もスポーツを続ける環境を整えることが必要です。スポーツを通じて次の世代へと知識や経験を伝えていくことも、

私たちの使命だと感じています。スポーツ推進委員として活動する中で、何よりも自分自身が楽しむことが大切だと感じ、それを学びました。自分が楽しんでいないと、その楽しさを他者に伝えることはできません。これからは、地域でのイベントや活動に積極的に参加し、その楽しさを広げていくことで、より多くの人々にスポーツの魅力を伝えていきたいと思っています。人生においてスポーツは、ただの競技以上の価値があり、楽しむことこそがその本質だと教わったことを、今後の活動に生かしていきたいと考えています。

新見市スポーツ推進委員

仲田 美紀

今回の研修に参加させていただき、スポーツ基本法について、スポーツ推進委員の役割などについて学ぶことができました。また他県の委員の方々の話を聞き、活動の幅広さや熱心な姿に驚きました。自分たちで企画、立案し、資金まで確保しているという市もあり、推進委員がどうあるべきか、何ができるのか、いろんな可能性があると感じました。どの委員も推進委員としての活動に対して意欲と自信をもっていて、テーマに沿って現状を話し合う場では、相手の話をしっかり聞きながら、よい意見があれば自分の市でどのように活用できるか考え、うなずき、共感し、賞賛するという姿も見られました。

スポーツ推進委員になって10年以上が経ちますが、今回の研修に参加してやっとスポーツ推進委員について分かったような気がします。スポーツによって人と人、地域と人を繋げることができると、楽しさは繋がり、広がっていくことなどを聞き、自分には何ができるだろうと考えるとわくわくしました。そういった気持ちで自分なりのやりがいを見つけ、スポーツ推進委員としての活動ができていたら私の10年はずっと良いものになっていたと後悔しています。また、今回のような研修を地方ごとに開催して欲しい、という意見がありました。東京での開催だと参加できる人数が限られるからです。地区や県での研修でもいろいろな学びがあると思います。資質向上、意識改革などには今回のような研修はとても役立つと思います。どこかでお話しする機会がありましたら、他市での良い例や委員としての意識や活動の可能性などについて私が学んだことをお伝えできればと思います。最後に、一人ひとりが尊重され、主体性自主性を大切にす、将来性のある会議の場づくり、スポーツを通してできることを多角的に考え、積極的に行動していきたいと思えます。

支部活動報告

備前支部

- 令和7年
 - 4月14日 支部評議員会
 - 5月31日 スキルアップの会
 - 9月28日 スキルアップの会 総会
 - 11月22日 代表理事会
 - 12月13日 支部研修会
 - 12月16日 スキルアップの会 研修会
 - 令和8年
 - 2月1日 支部臨時評議員会
 - 3月 代表理事会
 - 支部理事会



11月には備前市にて、支部研修会を実施しました。講師には新見公立大学の福武幸世氏をお招きし「ストレッチ・ダンス（みんなで楽しむ身体表現あそび）」というテーマで熱心にご指導いただきました。基本的なストレッチやダンスなどの身体表現を通じて、参加者が自然と笑顔になるような指導の引出しや安全かつ効果的に集団を指導するためのノウハウを学びました。



また、本支部では、年間約5万円の予算でスキルアップの会が自主的かつ精力的に活動しています。12月には赤磐市で研修会を開催し、参加者は「インドアクップ」と「フロッカー」の2種目を体験しました。委員同士の親睦を深めたり、各種目の魅力やルールなどを学んだり

備南支部

- 令和7年度
 - 4月23日 第1回支部評議員会
 - 5月25日 中国地区事前研修会（倉敷市）
 - 6月11日 第2回支部評議員会
 - 6月28日～29日 令和7年度中国地区スポーツ推進委員研修会
 - 7月14日 第3回支部評議員会

備南支部では6月28日～29日の中国地区研修会開催に向け、4月と6月に評議員会、5月に実技種目の事前研修会を行いました。事前研修会では、実技種目の運営体制の確認として、中国地区研修会で実施するボッチャ・卓球バレー・囲碁ボール・モルツクの4種目を、それぞれのコートに分かれて体験しました。本番は非常にたくさんの方の参加者を迎えるための開催となるため、



備北支部では、12月6日に高梁市川上町総合運動公園内体

備北支部

コートごとにまとまった競技進行をするための工夫や、競技ルールのわかりやすい伝え方などを各委員が検討し、参加者の方が選択種目を楽しめるような意見が飛び交っており、とても有意義な研修をすることができました。

令和7年度中国地区スポーツ推進委員研修会当日は、倉敷市民会館、水島緑地福田公園・ライフパーク倉敷を会場に、延べ840名の参加者を迎え盛大に開催することができました。



今大会の開催にあたり、ご尽力いただいた備南支部各市町のスポーツ推進委員および事務局、実行委員会の総勢約2000名の皆様、誠にありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

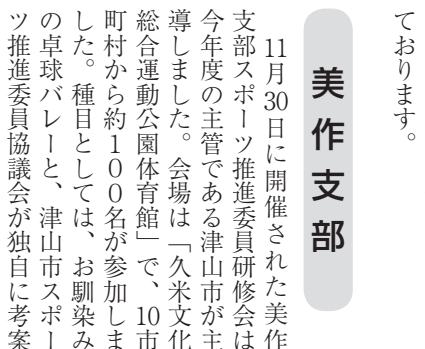
育館で、備北支部スポーツ推進委員研修会を開催いたしました。今回の支部研修会には、備北支部の高梁市・新見市から合計19人が参加しました。研修では、津山市発祥の「ほおるん・ピンゴ」で身体を温め、親交を深めた後、「卓球バレー」にて実技研修を行いました。



「ほおるん・ピンゴ」の「ほおる」は、「投げる」という意味の方言で、ロープで作った格子状のピンゴネットを床に敷き、布製の球とゴム製の室内用ペタンクボールを投げ、タテ・ヨコ・ナなめに球をそろえて得点を競うゲームです。また、近年は全国各地で大会も行われていて知名度も上がりつつあるニュースポーツです。この日は両市の混合チームを編成し対決しました。投げる球の素材・重量が異なるため力の入れ具合や、狙ったところへ投げるが大変難しく、一投一投試行錯誤しながら声を掛け合いプレーしました。思っ

たところに投げられたときには、喜びの歓声が上がりが一喜一憂しながら終始、試合を楽しみました。

「卓球バレー」は卓球台を使いネットを挟んで、1チーム6人ずつが、椅子に座ってボールを転がし、相手コートへ3打以内で返し、得点を競います。卓球とバレーボールの要素がありますが、椅子に座ったままプレーするので障がいの有無に関わらず、その種類や度合いが異なる人たちとも、一緒に協力してプレーできるユニバーサルスポーツとして広がりがつつあります。今年度の中国地区スポーツ推進委員研修会の実技研修でも行われ、参加された委員から「もう一度したい」という声や「準備が、備北支部研修会で実践することになりました。」



試合は卓球台を2台展開したこと、人数が少し足りなかったため、事務局も加わり対戦しました。「卓球バレー」の公式ルールでは反則が13個定め

られていますが、全て説明する時間が無かったため、今回は割愛しながら、試合を進行していきます。最初は、打ち方や攻め方・守り方など、頭をひねりながらプレーしていましたが、慣れてくると相手の弱点を突くような鋭い打球（魔球）が飛び交ったり、激しい攻防を展開したり、白熱した試合を繰り広げました。この「卓球バレー」とおして、参加者が少人数であってもローカルルールを取り入れて実施できることは、ニュースポーツの良さだと改めて感じました。

美作支部



11月30日に開催された美作支部スポーツ推進委員研修会は、今年度の主管である津山市が主導しました。会場は「久米文化総合運動公園体育館」で、10市町村から約100名が参加しました。種目としては、お馴染みの卓球バレーと、津山市スポーツ推進委員協議会が独自に考案

した「ターゲッドドッジビー」と「ディスクカローリング」が行われました。研修に参加した推進委員からは、ルールの簡単さや世代を超えて楽しめる点が評価され、ユニバーサルスポーツの魅力を支部全体で再確認することができました。

今回新たに加わった2つの新種目に加え、美作支部を中心に認知度を拡大している種目「ほおるん・ピンゴ」が、全国紙「2025みんなのスポーツ8・9月号」にも紹介されたことから、今後さらに全国的な知名度を向上させるとともに、美作支部全体で盛り上げていきたいと思っております。



令和7年度 事業報告

理事会報告

令和7年度事業報告・決算(見込み)

令和7年度第2回理事会が開催され、令和7年度事業報告及び収支決算見込みが報告並びに、令和8年度の事業計画及び収支予算が同意された。

Table with columns: 事業名, 期日, 場所, 備考. Lists various events and meetings throughout the year.

令和7年度岡山県スポーツ推進委員協議会収支決算書(一般会計)

Income statement table for the general account, showing categories like 会費収入, 雑収入, and 前年度繰越収支差額.

(支 出) (単位: 円)

Expense statement table for the general account, showing categories like 3 組織活性化部会, 3 事務費, 3 負担金, 4 予備費.

2,485,101円(収入決算額) - 2,024,455円(支出決算額) = 460,646円(次年度繰越金)

令和7年度岡山県スポーツ推進委員協議会収支決算書(特別会計)

Income statement table for the special account, showing categories like 1 研修会等, 1 研修会等.

(支 出) (単位: 円)

Expense statement table for the special account, showing categories like 1 事業費, 2 管理費, 1 旅費.

(支 出) (単位: 円)

Expense statement table for the special account, showing categories like 1 研修会等, 1 研修会等.

1,386,773円(収入決算額) - 0円(支出決算額) = 1,386,773円(次年度繰越金)

令和8年度 事業計画 (案)

令和8年度事業計画
・収支予算

Table with 4 columns: 事業名, 期日, 場所, 備考. Rows include 常任理事会, 理事會, 組織活性化部會, 中国地区スポーツ推進委員協議会会長会, etc.

令和8年度収支予算 (案) (一般会計)

(収入) (単位: 円)

Table with 4 columns: 勘定科目, R7年予算額, R8年予算額, 差異. Rows include 勘定科目, 大科目, 1 会費収入, 2 雑収入, 3 前年度繰越収支差額, etc.

Table with 4 columns: 勘定科目, R7年予算額, R8年予算額, 差異. Rows include 1 理事会, 2 常任理事会, 3 組織活性化部会, etc.

令和8年度 収支予算書 (案) (特別会計)

(収入) (単位: 円)

Table with 4 columns: 勘定科目, R7年予算額, R8年予算額, 差異. Rows include 勘定科目, 大科目, 1 研修会等, etc.

(支出) (単位: 円)

Table with 4 columns: 勘定科目, R7年予算額, R8年予算額, 差異. Rows include 勘定科目, 大科目, 1 事業費, 2 管理費, etc.

(支出) (単位: 円)

Table with 4 columns: 勘定科目, R7年予算額, R8年予算額, 差異. Rows include 勘定科目, 大科目, 1 研修会等, etc.



令和7年度岡山県スポーツ推進委員協議会役員

役職名	氏名	所属市町村	支部
会長	赤木 弘 蔵	新見市	備北
副会長	出原 稔 穂	岡山市	備前
〃	榎田 利 晃	井原市	備南
〃	信谷 昌 吾	新見市	備北
〃	江岡 圭 祐	津山市	美作
〃	岡崎 真 公	赤磐市	組織活性化部会
理事長	長尾 政 則	真庭市	美作
副理事長	大崎 一 郎	吉備中央町	備前
常任理事	小向 井 義 彰	岡山市	備前
〃	黒田 真 路	倉敷市	備南
〃	黒田 真 路	新庄村	組織活性化部会
理事	妹尾 力	岡山市	備前
〃	荻野 百合子	〃	〃
〃	大内 マリ子	〃	〃
〃	杉山 幸 治	玉野市	〃
〃	大饗 久 純	備前市	〃
〃	島村 靖 彦	瀬戸内市	〃
〃	大内 崎 陽 二	赤磐市	〃
〃	内田 浩 史	和気町	〃
〃	谷田 周 一郎	倉敷市	備南
〃	荒川 周一郎	〃	〃
〃	高橋 博 文	笠岡市	〃
〃	中村 信 一	井原市	〃
〃	中風 早 秀	総社市	〃
〃	佐藤 美 江	〃	〃
〃	高島 建 身	浅口市	〃
〃	松本 武 城	早島町	〃
〃	佐藤 義 培	里庄町	〃
〃	小川 敏 代	高梁市	備北
〃	西村 俊 一	高梁市	〃
〃	服部 康 正	新見市	〃
〃	谷口 陽 子	津山市	美作
〃	三村 公 一	真庭市	〃
〃	森 正 彦	美作市	〃
〃	宗 森 祐 二	鏡野町	〃

役職名	氏名	所属市町村	支部
〃	高山 恭 子	勝央町	〃
〃	岡 秀 樹	奈義町	〃
〃	渡部 徳 真	西粟倉村	〃
〃	光元 一 郎	久米南町	〃
〃	黒木 慎 一	美咲町	〃
〃	平田 久 実	高梁市	組織活性化部会
〃	松本 綾 子	〃	スポーツ振興課
監事	関野 雅 夫	岡山市	備前
〃	大森 静 夫	矢掛町	備南

令和7年度組織活性化部員

役職名	氏名	所属市町村	支部
部長	黒田 真 路	新庄村	美作
副部長	岡崎 真 公	赤磐市	備前
〃	平田 久 実	高梁市	備北
部員	椋 代 弘	岡山市	備前
〃	白井 福 美	玉野市	〃
〃	藤原 博 文	瀬戸内市	〃
〃	河内 留 美	吉備中央町	〃
〃	岡村 登 志	倉敷市	備南
〃	妹尾 曜 子	井原市	〃
〃	妹尾 康 代	浅口市	〃
〃	小野 妙 子	里庄町	〃
〃	五百蔵 実 子	高梁市	備北
〃	清本 喜 子	新見市	〃
〃	眞賀里 京 子	新見市	〃
〃	服部 康 正	津山市	美作
〃	前田 江 美	真庭市	〃
〃	半田 智 子	〃	〃
〃	橋本 峰 子	美作市	〃
〃	篠原 裕 和	美咲町	〃

(順不同・敬称略)



株式会社 山下体育社

〒700-0952 岡山市北区平田117-109 電話 086-236-7781

<https://ymt-taiiku.jp>

スポーツ／文化活動／ボランティア活動
 団体活動のための補償制度

令和8年度(2026年度)
 保険期間 令和8年4月1日から
 令和9年3月31日まで

スポーツ安全保険®

小さな掛金で
 充実補償



ネットで
 簡単手続き



熱中症も
 対象

加入区分・掛金(年度初回加入時は4名以上)

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金(1人当たり)
子ども (中学生以下)	スポーツ活動	A1	800円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動		
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	2,000円
		B 65歳以上	1,200円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円
子ども (中学生以下)	ワ(個人活動補償型) A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
		C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW 64歳以下
大人 (高校生以上)	B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW 65歳以上	5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
 (注)C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和8年4月1日」を基準とします。

スポあんネット
 インターネットでかんたん加入

保険の詳細内容、資料の請求は、
 ホームページをご覧ください。

#スポーツチーム #大学クラブ #スポーツ少年団
 #放課後事業 #総合型地域スポーツクラブ #教室
 #部活動地域展開 #文化系サークル #ボランティア

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉
 東京海上日動火災保険株式会社 ☎0120-233-801
 担当課 公務第二部 文教公務室 (平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(令和8年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

Spo-An For Fun Sports & Cultural Activities
 公益財団法人
スポーツ安全協会
<https://www.sportsanzen.org>